# 令和6年度第2回小学校教科担任制推進協議会 実践交流資料

## 1 学校名·教科型

呉市立呉中央小学校 4 教科型

## 2 学校の概要

学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級								合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	学級	
児童数	86	75	90	86	87	99	523	28	551
学級数	3	3	3	3	3	3	18	7	25

## 3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道徳	総合	学活	外国語意
週当たり標準授業時数	6	1	2.6	5	3	1. 7	1.7	3	1	2	1	1
4年1組 (担任:A)	A	A	A	A	A	A	A	推進	A	A	A	A
4年2組 (担任:B)	В	В	В	В	В	В	В	推進	В	В	В	В

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年1組 (担任:C)	С	С	Е	С	D	С	С	С	推進	С	С	С	С
5年2組 (担任:D)	D	D	D	D	D	С	С	D	推進	D	D	D	D
5年3組 (担任:E)	Е	Е	Е	Е	Е	С	С	Е	推進	Е	Е	Е	Е

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年1組 (担任:F)	F	専科	Н	F	G	F	F	F	推進	F	F	F	F
6年2組 (担任:G)	F 1. 6 G 2. 4	専科	Н	G	G	F	G	G	推進	G	G	G	G
6年3組 (担任: H)	F 1. 6 H2. 4	専科	Н	Н	G	F	Н	Н	推進	Н	Н	Н	Н

## 4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

## <効果のあった取組>

### ① 授業の質の向上

(1)ソフトボール投げの記録向上のために

- ・体力テストの記録,全国平均をもとに個人の目標を設定させ、意欲の向上を図った。
- ・ 肩回りの動きを柔らかくするために、柔軟運動の動画を作成し、学校全体で取り組んだ。
- ・授業の始めに、ソフトボール投げの補強運動を行った。

## (2)場の工夫

・児童の能力に合わせて挑戦できる場を作った。





			年 組 番	名前
全国平均 自分の目標 9月 10月 11月 12月		上体起こし	50m走	ソフトボール投げ
6分の目標 9月 10月 11月 12月	6月の記録			
9 J 10 J 11 J 12 J 12 J 12 J 12 J 12 J 12	全国平均			
9 H 1 D H 1 1 H 1 2 H	自分の目標			
11H 12H	9月.			
12月	10月			,
	11月			
2学期の振り返り	12月			
	2学期の振り	返り		

体力向上チャレンジ

#### ④教師の負担軽減

- 1人の教師が受けもつ教科数が減ったことにより、余裕をもって授業準備等を行うことができた。
- ・運動会や球技大会などの体育的行事の際、補助的な支援をした。



## <成果>

#### ① 授業の質の向上

・ソフトボール投げの全国平均を上回る児童の割合が55%以上という学校目標数値を達成した。

## <全国平均を上回る児童の割合>

	1学期	2 学期
4年男子	17%	53%
5年男子	58%	69%
6年男子	39%	64%

	1学期	2 学期
4年女子	42%	51%
5年女子	62%	56%
6年女子	55%	45%

- ・授業研究、授業準備の時間が確保できるため質の高い授業を行うことができた。
- →児童の運動量の確保につながる
- ・さまざまな場の工夫により、運動が苦手でも挑戦する児童や達成感を感じる児童が増えた。

## ④教師の負担軽減

- ・担当教科が減ることで、他の教科の授業準備等に時間をあてることができた。
- →授業研究、授業準備の時間を確保できるため質の高い授業を行うことができる。
- ・体育的行事での担任の負担が軽減した。

## <課題>

## ① 授業の質の向上

- ・ソフトボール投げだけでなく、本校の重点3種目(50m走,上体起こし)をさらに強化していく。
- ・児童全員が意欲をもって主運動に入れるような補助運動を行う。
- ・運動量を確保しつつ、思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを行う。
- ・運動の苦手な児童を少なくする取組を行う。

## ④教師の負担軽減

・時間割の変更が難しい。



# <対策>

## ① 授業の質の向上

- ・短期間での取組による記録向上を目指すのではなく、1年間を通して継続的に補強運動を行う。
- ・体育に関する専門的な知識を身に付け授業力を向上させる。
- ・運動の苦手な児童の小さな変化に気付き、頑張りを認める。

## ④教師の負担軽減

・基本の時間割を変更する場合には、早目に担当学年と連携するとともに、必ず前週に次週の確認 を行う。